

3月20日投票
大子町議選

問われる3つの争点



1 戦争法 「廃止を求める人」か

戦争する国「すすめる人」か

日本は戦争か平和かの岐路に立っています。日本共産党は、昨年、国会で強行された戦争法廃止の一点で野党共闘をすすめ、「だれの子も殺させない」平和な日本をめざします。地方議会でも廃止のためにがんばります。

2 住民のいのちと暮らし

「守る人」かー「削る人」か

「年金が少なく将来が不安」「国保税・介護保険税が高くて払いきれない」など、住民の不安が広がっています。

町は、行革と称して、職員の削減を行い、使用料・手数料等についても、「近隣市町村との均衡を保ち、常時見直しをはかる」として、値上げの方向で住民負担をつよめようとしています。

日本共産党は町民犠牲の「行革」には反対し、ため込み金も活用して暮らしを守ります。



常に町議会の重責担い、道理ある質問が町政を動かす

佐藤正弘議員は2期8年間、「町民こそ主人公」の立場で奮闘。1期目で総務委員長、現在は文教厚生副委員長と常に議会の重責を担っています。議会では毎回質問。その筋の通った質問で、小中学校へのエアコン設置、18歳、高校卒業までの医療費無料化、住宅リフォーム助成制度の実現に尽力。議会の様子は「大子タイムリー」で知らせ好評です。日本共産党の佐藤正弘議員の議席は、町民になくてはならない「宝の議席」です。

3 東海第二原発 再稼働

「ストップする人」かー「容認する人」か

福島原発事故では、大子町の観光や特産のお茶・リンゴなど農林業にも大きな被害を受けました。

東海第二原発は稼働以来38年の老朽原発ですが、会社は再稼働をめざしています。

同原発から町の一部が30キロ圏内にかかる大子町。ひとたび事故が起きれば、緑豊かな大子町の暮らしも環境も守れません。

日本共産党は、みなさんと力を合わせて、「再稼働ストップ」のため力をつくします。



日本共産党・町議会議員
さとう まさひろ

佐藤正弘

ため込み金は水戸市の
3.6倍 約33億円

職員の削減などで、町がため込んだお金は32億7200万円（1人当たり水戸市の3.6倍）。

この一部を活用すれば住民要求は実現できます。

大子タイムリー

2016年3月号外 日本共産党の見解をお知らせします。

発行/日本共産党大子町委員会 連絡先/事務所 矢田325-9 電話0295-76-8333 Fax 76-8330

町長の

切実な願い実現に全力

日本共産党
佐藤正弘

国政での選挙協力
5野党が合意

日本共産党



▲日本共産党茨城県委員長 田谷 武夫



▲大子町議会議員 佐藤 正弘

武夫 田谷 正弘 佐藤

いのちとくらし、平和がいちばん 戦争法廃止!

日本共産党街頭演説会
3月12日(土) 午後3時より 大子駅前

戦争法廃止の野党共闘の柱
日本共産党が伸びれば政治は変わります

「働く場があったら、自然豊かな大子町で暮らしたい」…これが町民の願いです。町と一体となって働く場の確保をはかり、住み続けられる大子町をめざします。

■生活道路の整備と通学路の安全確保をはかります
大子町の主要道路の舗装率は県内でも低く、山間に伸びる生活道路や通学路の整備も急務です。生活道路の整備費を2倍の〇〇万円に増やします。

■店舗・住宅リフォーム助成制度を充実させます
地域の経済波及効果が大きく、地元中小業者や住民から喜ばれている制度です。年500万円の助成で約2.4倍(秋田県の例)の1億2000万円の工事額が見込めます。

■若者向け町営住宅の増設と定住促進を支援します
出生率は県内一低い大子町。若者の定住と少子化対策は待たなれません。若者向け町営住宅の増設をはかります。年間5戸ずつで財源は約7500万円です。

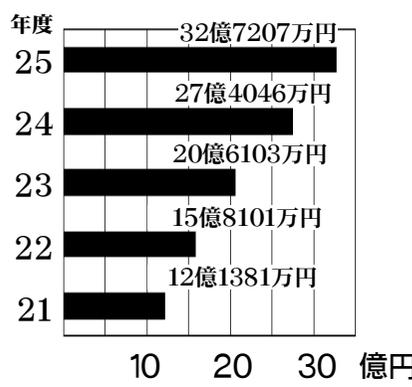
■介護保険料、利用料の軽減をはかります
高齢者(65才以上)が県内ではじめて40%に達した大子町。介護保険・利用料の負担軽減をはかります。在宅介護利用料の半額を助成します。財源は約2500万円です。

■国民健康保険税を1世帯1万円引下げます
「収入の1割以上になり、払いきれない」と悲鳴があがっています。1世帯1万円の引き下げを求めます。財源は約3700万円あれば実現できます。



大子町の「ため込み金」は年々増えて、この5年間(平成21年〜25年)で2.7倍に急増(グラフ参照)しています。日本共産党の佐藤正弘は「ため込み金」の一部を暮らし応援に使って、町民の暮らしを守ります。

5年間で
2.7倍に急増



33億円のため込み金は、暮らし応援に

